CASBEE-建築(新築)2024年版
(仮称)株式会社プロスパイラ　研究所新築工事

■使用評価マニュア, CASBEE-建築(新築)2024年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート　実施設計段階

配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								**2.8**
Q1 室内環境					**0.40**		-	**3.2**
1 音環境				**3.6**	0.15	-	-	**3.6**
	1.1 室内騒音レベル		ー	**3.0**	0.40	-	-	
	1.2 遮音			**4.2**	0.40	-	-	
		1 開口部遮音性能	T-2以上	5.0	0.60	-	-	
		2 界壁遮音性能	ー	3.0	0.40	-	-	
		3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	ー	-	-	-	-	
		4 界床遮音性能(重量衝撃源)	ー	-	-	-	-	
	1.3 吸音		床(タイルカーペット)、天井(岩綿吸音板)	**4.0**	0.20	-	-	
2 温熱環境				**3.2**	0.35	-	-	**3.2**
	2.1 室温制御			**3.5**	0.50	-	-	
		1 室温	ー	3.0	0.38	-	-	
		2 外皮性能	窓システムSC:0.205、U=3.000(W/㎡K)、外壁その他:U=0.801(W/㎡K)	5.0	0.25	-	-	
		3 ゾーン別制御性	ー	3.0	0.38	-	-	
	2.2 湿度制御		ー	**3.0**	0.20	-	-	
	2.3 空調方式		ー	3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				**2.8**	0.25	-	-	**2.8**
	3.1 昼光利用			**2.4**	0.30	-	-	
		1 昼光率	ー	2.0	0.60	-	-	
		2 方位別開口	ー	-	-	-	-	
		3 昼光利用設備	ー	3.0	0.40	-	-	
	3.2 グレア対策			**3.0**	0.30	-	-	
		1 昼光制御	ー	3.0	1.00	-	-	
	3.3 照度		ー	**3.0**	0.15	-	-	
	3.4 照明制御		ー	**3.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境				**3.5**	0.25	-	-	**3.5**
	4.1 発生源対策			**4.0**	0.50	-	-	
		1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を採用	4.0	1.00	-	-	
	4.2 換気			**3.0**	0.30	-	-	
		1 換気量	ー	3.0	0.33	-	-	
		2 自然換気性能	ー	3.0	0.33	-	-	
		3 取り入れ外気への配慮	ー	3.0	0.33	-	-	
	4.3 運用管理			**3.0**	0.20	-	-	
		1 CO_2の監視	ー	3.0	0.50	-	-	
		2 喫煙の制御	ー	3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				ー	**0.30**	-	-	**3.2**
1 機能性				**3.0**	0.40	-	-	**3.0**
	1.1 機能性・使いやすさ			**3.0**	0.40	-	-	
		1 広さ・収納性	ー	3.0	0.33	-	-	
		2 高度情報通信設備対応	ー	3.0	0.33	-	-	
		3 バリアフリー計画	ー	3.0	0.33	-	-	
	1.2 心理性・快適性			**2.6**	0.30	-	-	
		1 広さ感・景観	事務室天井高2.7m	4.0	0.33	-	-	
		2 リフレッシュスペース	ー	3.0	0.33	-	-	
		3 内装計画	ー	1.0	0.33	-	-	
	1.3 維持管理			**3.5**	0.30	-	-	
		1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した取り組みを行う	4.0	0.50	-	-	
		2 維持管理用機能の確保	ー	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				**3.0**	0.30	-	-	**3.0**
	2.1 耐震・免震・制震・制振			**3.0**	0.50	-	-	
		1 耐震性(建物のこわれにくさ)	ー	3.0	0.80	-	-	
		2 免震・制震・制振性能	ー	3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数			**3.4**	0.30	-	-	
		1 躯体材料の耐用年数	ー	3.0	0.20	-	-	
		2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ー	2.0	0.20	-	-	
		3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	事務室:床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ(20年)、壁ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(20年)、天井岩綿吸音板(30年)	5.0	0.10	-	-	
		4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ー	3.0	0.10	-	-	
		5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
		6 主要設備機器の更新必要間隔	ー	3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性			**2.6**	0.20	-	-	
		1 空調・換気設備	ー	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水・衛生設備	ー	3.0	0.20	-	-	
		3 電気設備	ー	3.0	0.20	-	-	
		4 機械・配管支持方法	ー	3.0	0.20	-	-	
		5 通信・情報設備	ー	1.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
		1	階高のゆとり	階高4.2m	5.0	0.60	-	-	
		2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.18	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			ー	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性				3.2	0.40	-	-	
		1	空調配管の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
		2	給排水管の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
		3	電気配線の更新性	ケーブルラックの採用	5.0	0.10	-	-	
		4	通信配線の更新性	ー	3.0	0.10	-	-	
		5	設備機器の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
		6	バックアップスペースの確保	ー	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境（敷地内）				ー	0.30	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出			ー	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮			ー	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			ー	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			ー	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性					-		-	3.4
LR1	エネルギー				ー	0.40	-	-	3.5
1	建物外皮の熱負荷抑制			BPIm=0.76	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用（直接利用）			ー	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化			BEIm=0.58	3.2	0.50	-	-	3.2
		集合住宅以外の評価			3.2	-	-	-	
		集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用に向けた取組み				3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
		4.1	モニタリング	ー	3.0	0.44	-	-	
		4.2	運用管理体制	ー	3.0	0.44	-	-	
		4.3	非化石エネルギーの導入の拡大	ー	-	-	-	-	
		4.4	コミッショニングの推進	ー	3.0	0.11	-	-	
		集合住宅の評価			-	-	-	-	
		4.1	モニタリング	ー	-	-	-	-	
		4.2	運用管理体制	ー	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル				ー	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水			自動水栓に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	ー	3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	ー	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				3.5	0.60	-	-	3.5
	2.1 材料使用量の削減			過半を占めるUBCR365の使用	4.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			ー	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			ー	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ー	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			ー	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			OAフロアの採用、躯体+軽鉄+仕上材を採用	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			ー	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	
		1	消火剤	ー	-	-	-	-	
		2	発泡剤（断熱材等）	外壁：ODP=0、GWP=3、土間床：ODP=0、GWP=3	4.0	0.50	-	-	
		3	冷媒	ー	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境				ー	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率　72%	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止			ー	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			ー	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減	ー	3.0	0.25	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制	ー	3.0	0.25	-	-	
		3	交通負荷抑制	交通負荷抑制に取り組んでいる	4.0	0.25	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制	ー	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
		1	騒音	ー	3.0	0.50	-	-	
		2	振動	ー	-	-	-	-	
		3	悪臭	ー	3.0	0.50	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	ー	3.0	0.70	-	-	
		2	砂塵の抑制	ー	-	-	-		
		3	日照阻害の抑制	ー	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ー	3.0	0.70	-	-	
		2	昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策	ー	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2　サービス性能															
1.2.3 内装計画	1.0	−	−	−	○	−	−	−	−	−					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	8.0		○	○	○	○	−	○	○	−	−	○	−	○	−
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		−	−	−	−	−	○	○	−	○	○	○	○	−
2.4.1 空調・換気設備	−		○	−	−	−	−								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	−	−	−	−	−						
2.4.3 電気設備	1.0	−	−	−	−	○	−	−							
2.4.5 通信・情報設備	−		−	−	−	−	−	−							
Q3　室外環境(敷地内)															
1　生物資源の保全と創出	3.0		−	−	2.0	−	−	−	1.0	−	−	−	−		
2　まちなみ・景観への配慮	1.0		−	1.0	−	−	−	−							
3.1　地域性への配慮、快適性の向上	1.0		−	−	−	−	−	1.0	−	−					
3.2　敷地内温熱環境の向上	7.0		−	1.0	−	2.0	−	−	−	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2　自然エネルギー利用(直接利用)	−		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
4.1.4 コミッショニングの推進	−		−	−	−	−	−								
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			−	−	−	−	−	−	−	−					
2.1　材料使用量の削減	4.0		−	3.0	1.0										
2.3　躯体材料におけるリサイクル材の使用			−	−	−	−	−								
2.6　部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	−	○	−									
3.1　有害物質を含まない材料の使用	−														
LR3 敷地外環境															
2.2　温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	1.0	2.0	3.0	1.0	−	−	1.0	1.0	−			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	−	1.0	1.0	−	−							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		−	1.0	1.0	−		−	−						
3.2.2 砂塵の抑制	−		−	−											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		−	2.0											

主な指標

Q1　室内環境

2.1.3 外皮性能
窓システムSC　0.2　窓の日射熱取得率(η) 0.2
U値(W/m2K)　窓システム 3.0　屋根 0.6　外壁 0.9　床 2.7
住戸部分　窓システムU値 −　外皮UA値 −　ηAC −　ηAH −

3.1.1 昼光率
昼光率 −

4.2.2 自然換気性能
自然換気有効開口面積率 −

Q2　サービス性能

1.1.1 広さ・収納性
執務スペース −　/人　病床 −　/床　シングル −　ツイン −

1.1.2 高度情報通信設備対応
コンセント容量 −　VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観
天井高 2.7m　m

1.2.2 リフレッシュスペース
リフレッシュスペース −　レストスペース −

2.2.1 躯体材料の耐用年数
想定耐用年数 −　年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔
想定必要間隔 −　年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
想定必要間隔 20　年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔
想定必要間隔 −　年

3.1.1 階高のゆとり
階高 4.2　m

3.1.2 空間の形状・自由さ
壁長さ比率 0.2

3.2　荷重のゆとり
床荷重 −　N/m2

Q3　室外環境(敷地内)

1　生物資源の保全と創出
外構緑化指数 −　建物緑化指数 −

3.2　敷地内温熱環境の向上
空地率 −　水平投影面積率 −　地表面対策面積率 −　舗装面積率 −

LR1　エネルギー

1　建物外皮の熱負荷抑制
BPI/BPIm　0.76　断熱等性能等級　対象外 相当

2　自然エネルギー利用(直接利用)
影響範囲の割合 −　採光を満たす教室数 −　採光を満たす住戸数 −
通風を満たす教室数 −　通風を満たす住戸数 −

3　設備システムの高効率化
太陽光　.0kW　太陽熱等　.0kW　蓄電池　.0kWh

非住宅部分
BEI/BEIm　再ｴﾈ有　0.58　無　0.58　ｵﾌｻｲﾄ再ｴﾈ有　−　−

集合住宅
一次エネ削減率　再ｴﾈ有　無　−

LR2　資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無
雨水利用率 −

2.4　躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
特定調達品目 −　エコマーク商品 −　自治体指定の特定品目等 −

2.5　持続可能な森林から産出された木材
使用比率 −

3.2.1 消火剤
オゾン層破壊係数(ODP)　地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)
オゾン層破壊係数(ODP) 0　地球温暖化係数(GWP) 3

3.2.3 冷媒
オゾン層破壊係数(ODP)　地球温暖化係数(GWP)

LR3　敷地外環境

2.2　温熱環境悪化の改善
見付面積比 −　隣棟間隔指標Rw −
地表面対策面積率 −　屋根面対策面積率 −　外壁面対策面積率 −
見付面積Sb −　卓越風向と直交する最大敷地幅Ws −　m　基準高さHb −　m
緑地 −　水面 −　保水性対策面 −　高反射対策面 −　再帰性反射対策面 −